

資料 1 - 4

令和 7 年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）を活用した事業の効果検証について

・若者・女性が活躍できる地域の働き方等推進事業



門 真 市

Kadoma City

令和 7 年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）

▶ 新しい地方経済・生活環境創生交付金とは

- 令和 6 年 10 月 1 日に石破内閣が発足し、「地方こそ成長の主役」との発想に基づき「地方創生 2.0」が起動。
- 地域再生制度による国の支援制度として、自由度の高い事業を行うことができる地方創生交付金として「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）」が創設。
- これにより、地方創生交付金は「デジタル田園都市国家構想交付金（デジ田交付金）」から第 2 世代交付金に移行。
- 門真市では、令和 7 年度から【生活環境の創生】で第 2 世代交付金を活用し、以下の取組を実施している。

▶ 対象事業

事業名	若者・女性が活躍できる地域の働き方等推進事業
計画期間	令和 7 年度～令和 9 年度
総事業費	2,980,000 円（交付金充当額：1,490,000 円）（令和 7 年度実績）
概要	本事業は、若者・女性にとって働きやすく魅力ある職場を地域に創出することで、若者・女性の流出を防ぐとともに、若者・女性から選ばれるまちになるための事業である。
取組詳細	人材確保対策事業
K P I	① 20代から30代の女性人口増加数 ② 市内事業所における新規雇用者数 ③ 市内事業所におけるインターンシップ受入数

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

取組詳細

01 人材確保対策事業

関連するKPI

- ① 20代から30代の女性人口増加数
- ② 市内事業所における新規雇用者数
- ③ 市内事業所におけるインターンシップ受入数

総事業費

2,980,000円（交付金充当額：1,490,000円）

事業概要

市内在住の子育て中の女性等を対象としたワークショップを開催し、就労意欲・課題・希望する働き方等のニーズを把握した上で、地元企業の経営者層を対象とした研修を実施し、「柔軟な働き方」や「多様な人材の活用」への理解促進を図り、企業側の意識改革に取り組むことで、子育て中の女性等の潜在的労働力を就労につなげ、地域の人材不足を緩和する。また、SNS等を活用した新たな採用戦略を展開し、地域内外への発信力を高め、「このまちで働きたい」と思わせるブランディングを強化することで、新たな人材の確保をめざす。

令和7年度 実施内容

企業セミナーの開催

開催日：令和8年1月28日（水）、2月25日（水）

門真市ものづくり企業ネットワークの定例会で、「人材獲得・定着」等をテーマとしたセミナーを開催。旧来型の働き方環境と求職者ニーズとの乖離が、人材流出や定着率低下の背景にあること等、企業側の意識改革につなげた。



門真市ものづくり企業ネットワーク Aグループ主催

第89回 定例会

1月の定例会は、
「人材獲得・定着」セミナーを開催！

テーマ
門真のものづくりを次代へ繋ぐ「人材獲得・定着」の生存戦略
～なぜ、若者や女性に「あの会社」を選ばれたのか？人手不足時代の経営の分岐点～

内容
人材確保が困難な時代に、なぜ「選ばれる企業」と「選ばれない企業」に分かれるのかを経営視点で考えます。

講師 門真市若者・女性の働き方政策推進アドバイザー
菊生 智恵（きくぶ ちづみ）（会社員）
株式会社パソナにて販売責任者を歴任。2013年より女性活躍・ダイバーシティ推進事業に専事。厚労省・中小企業庁事業にて、子育て世代女性の育成職支援の統括リーダーとして延べ250名の研修を企画運営。約500名額を企業でマッチング。2017年株式会社スー・アール設立。全国企業・自治体の人材育成、キャリア支援、管理職育成、メンター制度構築を推進。社会支援・育成対象者20,000名以上。

令和8年 1月28日 水

18:00～19:30 終了後、有志での懇親会を開催予定です！

■ 場 所 門真市中小企業サポートセンター分室（新橋町3-3-215）
（門真アサザ商店会2階 タイコタラックが入っている1フロアです）

■ 問合せ先 門真市中小企業サポートセンター
☎ 06-6995-4068 ※事前申し込み不要です

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

KPI

①

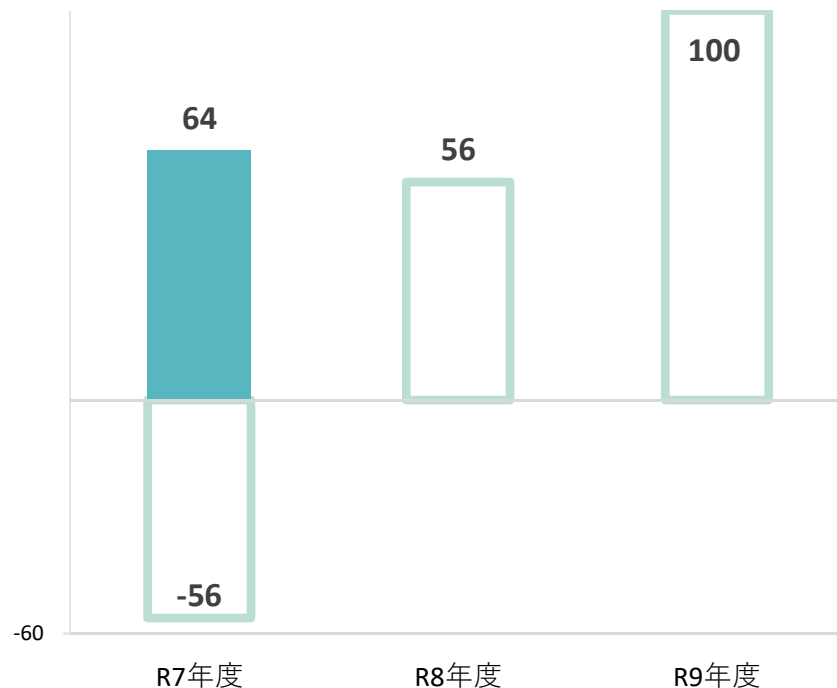
20代から30代の女性人口増加数

実績値（令和7年度）： 64人

達成

（単位：人）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R7年度)	目標値 (R8年度)	目標値 (R9年度)
11,856	-56	56	100



担当課効果検証結果

- 市内ものづくり企業（経営者層向け）へのセミナー・企業ヒアリング等を実施し、企業側が抱える人材確保・定着の課題を可視化した。
- 実施事業を通して、若者・女性が働き続けるためには、「柔軟な働き方」や「働きがい」、「心理的安全性」等が重要であることが整理され、地域として必要な方向性を企業と共有することができた。
- 令和8年度以降は、令和7年度に意識改革に取り組んだ事業者等をモデル事業者として、魅力発信動画の作成や事業者訪問ツアー、合同就職説明会等により企業と若者・女性とのマッチング機会創出等を実施する予定。
柔軟な勤務制度や働きやすい職場環境づくりを促進することで、「働きがいのあるまち」としての地域ブランディング強化につなげていく。

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

KPI

②

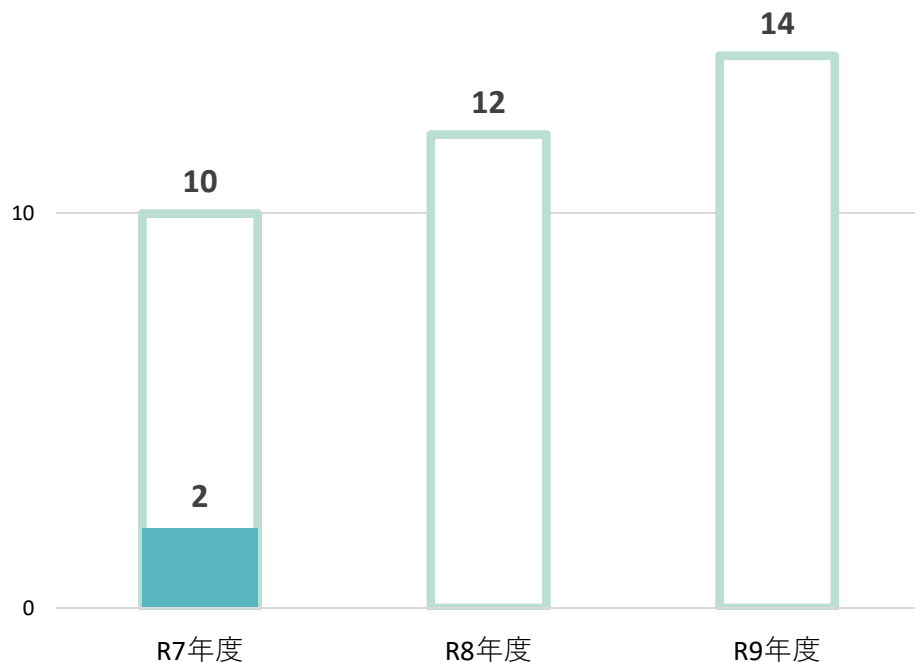
市内事業所における新規雇用者数

実績値（令和7年度）： 2人

未達

（単位：人）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R7年度)	目標値 (R8年度)	目標値 (R9年度)
0	10	12	14



担当課効果検証結果

- 市内ものづくり企業（経営者層向け）へのセミナー・企業ヒアリング等を実施し、企業側が抱える人材確保・定着の課題を可視化した。
- 企業セミナーやヒアリングを通して、若者・女性が働き続けるためには、「柔軟な働き方」や「働きがい」、「心理的安全性」等が重要であることが整理され、地域として必要な方向性を企業と共有することができた。
- 一方で、令和7年度は、採用に直結する事業を実施する段階には至っておらず、新規雇用者数への直接的効果は今後の課題である。
- 令和8年度は、魅力発信動画の作成や事業者訪問ツアー、合同就職説明会等により企業と若者・女性とのマッチング機会創出等を実施する予定で、市内事業者の採用力向上や、求職者との接点増加が図られ、新規雇用者数の増加につながることを期待される。

令和7年度新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）

KPI

③

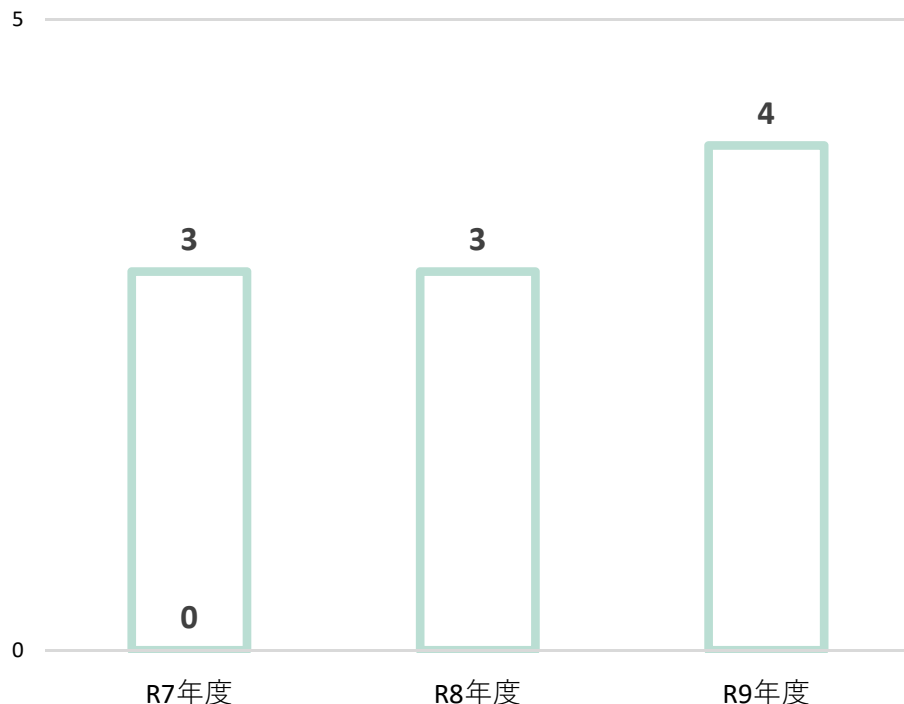
市内事業所における
インターンシップ受入数

実績値（令和7年度）： 0人

未達

（単位：人）

基準値 (計画開始 時点)	目標値 (R7年度)	目標値 (R8年度)	目標値 (R9年度)
0	3	3	4



担当課効果検証結果

- 市内ものづくり企業（経営者層向け）へのセミナー・企業ヒアリング等を実施し、企業側が抱える人材確保・定着の課題を可視化した。
- 企業セミナーやヒアリングを通して、若者・女性働き続けるためには、「柔軟な働き方」や「働きがい」、「心理的安全性」等が重要であることが整理され、地域として必要な方向性を企業と共有することができた。
- 一方で、令和7年度は、インターンシップ等の具体的な受入事業を実施する段階には至っておらず、受入数への直接的効果は今後の課題である。
- 令和8年度は、魅力発信動画の作成や事業者訪問ツアー、合同就職説明会、インターンシップ事業等を実施する予定であり、若者・女性が実際に市内企業の仕事や職場環境に触れる機会を創出していく予定で、これにより、市内企業への理解促進や、地域企業を就職先として認識する若者の増加が期待され、将来的な市内企業への就職につながるが見込まれる。